

世界ジオパークのまち

いといがわ市

第 2 号

平成26年9月30日発行

農業委員会だより



就任のごあいさつ

糸魚川市農業委員会

会長 吉原 勝廣

このたび、糸魚川市農業委員の改選が行われ、7月22日開催の農業委員会互選会におきまして、前期に引き続いて会長を担わせていただくことになりました。皆様のご協力の下、公平、適正な農業委員会運営に努めてまいりたいと決意です。

近年の農業を取り巻く環境の変化に呼応して、昨年、農地中間管理機構に関する法律の制定及び農業経営基盤強化促進法と農地法の一部改正等が行われたほか、農業委員会制度・組織のあり方の見直しが進められるなど、農業委員会においても対応が迫られています。

このため、農業委員会では委員一同が協力し、農業の振興や農地の適正管理、担い手の育成等の課題に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新しい農業委員が決定しました

糸魚川市農業委員会は、選挙による委員25名、団体推薦委員3名（農業協同組合、農業共済組合、土地改良区各1名）、議会推薦2名の計30名で構成されています。

今回、任期満了に伴う農業委員改選により、新たに農業委員が選出されました。

農業委員の担当地区

番号	氏 名	住 所 地	担 当 地 区		
1	寺 崎 広 一	中 宿	浦本全域		
2	吉 原 勝 廣	東 海	東海、田屋、道明、堀切、西谷内、上覚、四ツ屋、東川原、新町		
3	片 山 博 夫	谷 根	清水山、日光寺、滝川原、上出、下出、谷根、見滝		
4	五十嵐 昭一	土 塩	越、宮平、中野、中林、土塩、坪野、猿倉、吹原		
5	霜 越 恭 治	北 山	大平、土倉、中川原新田、砂場、北山、角間		
6	岩 崎 源 一	大 和 川	大和川全域		
7	石 黒 和 彌	羽 生	水保、羽生、平牛、成沢、真光寺		
8	小 竹 春 治	真 木	御前山、市野々、来海沢、栗倉、真木、釜沢、道平、川島、田中		
9	古 木 柁 良	蓮 台 寺	押上、寺町、京ヶ峰、蓮台寺、一の宮		
10	加 藤 久 雄	寺 島	清崎、中央、大町、本町、新鉄、横町、寺島、上刈		
11	荻 野 輝 道	大 野	大野全域		
12	横 川 昭 登 志	根 小 屋	根小屋、東中、上野、栗山、和泉		
13	伊 藤 眞 一	山 寺	大工屋敷、上野山、蒲池、西山、余所、杉之当、上横、山口、別所、大久保、梶山、山寺、大神堂、上沢		
14	中 村 成 義	小 滝	小滝全域		
15	山 岸 浩	西 中	今井全域		
16	白 澤 求	須 沢	須沢、今村新田、田海、寺地、青海、橋立		
17	池 亀 文 雄	徳 合	筒石、徳合、仙納、藤崎、空熊新田		
18	福 田 幸 生	百 川	百川、大洞、小泊		
19	小 池 憲 夫	鶉 石	大平寺、寺山、桂、鶉石、下小見		
20	土 沢 一 男	平	大沢、島道、中野口		
21	井 上 二 郎	能 生	上小見、平、指塩、柱道、大道寺、鷲尾、大王、能生		
22	伊 藤 昭 一	槇	藤後、槇		
23	日 馬 吉 雄	溝 尾	溝尾、川詰、東谷内、高倉、下倉		
24	齋 藤 清 美	須 川	物出、柵口、西飛山、田麦平、崩、須川		
25	小 竹 堅 吾	木 浦	木浦、鬼舞、鬼伏		
26	月 岡 精 一	上 刈	団体選出等のため特定の担当地区はありません。	推 薦 区 分	農業協同組合
27	松 澤 一 久	田 中			農業共済組合
28	猪 又 隆 夫	来 海 沢			土地改良区
29	比 護 フサ子	東 塚			市議会
30	上 原 スミ子	田 海			

新規農業委員研修会に参加して

農業委員 加藤 久雄

ここ数年、農政が目まぐるしく変遷を強いられています。優良農地の確保・有効利用と担い手の確保育成が大きな仕事と感じました。

そんな中、当市でもご多分に漏れず、農業者の高齢化が大きな問題となっています。私自身も65歳で8・5haの水稻を、妻

と息子の手伝いを当てにしながら行っていますが、農振適用除外地での耕作に限界を感じています。

個人での営農では、大きな限界が目に見えています。「人・農地プラン」の具体化に向けての取り組みが、喫緊の課題ではないでしょうか。

農業委員レポート

地域別農業委員研修会に参加して

農業委員 日馬 吉雄

新たな規制改革や制度、政策が矢継早に実施されようとしている中、研修の内容も農地中間管理機構や農業委員会の改革等に集中していました。

T P P参加を前提とした一連の流れの中、細部まで決定されていない不確定な状況の中、予算の

優先順位もチラつかせる等まだまだ不明朗であります。一方、米離れがどんどん進み、米価の低迷が予想される中、生産費の削減も限界であります。あらゆる制度、政策を地域で話し合い活用していかないと生き残れないと肌で感じた研修でした。

農地パトロールを実施しました



農業委員会では、遊休農地の実態把握と発生防止・解消対策、農地の違反転用発生防止を中心として、農地の確保と有効利用を図ることを目的に、農地パトロールを実施しています。

今回は、7月31日に農地パトロールを実施し、糸魚川地区、青海地区の農地転用案件、今井地区、青海地区の耕作放棄地について、現況確認を行いました。また、パトロール後には、今後の対応について検討会を行いました。

耕作放棄地は、農業従事者の高齢化や後継者・担い手不足、過疎化の進展により年々増加傾向にあり、喫緊の課題となっています。今後もパトロールを実施することで、耕作放棄地の発生の抑制や解消に向けて取り組んでいきます。

農業委員会制度・組織の あり方の見直しが 動められています

国の規制改革会議による「規制改革に関する第2次答申」では、農業委員会の改革が明示されています。

これを受けて、政府によって改訂及び閣議決定された「農林水産業・地域の活力プラン」、 「規制改革実施計画」等において指摘されている次の6つの項目について、「農業委員会に関する法律」の改正に向けた検討が行われています。

- ① 農業委員の選任を公選制から市町村長の選任制への移行
- ② 農業委員定数の半減
- ③ 農地利用最適化推進委員の新設
- ④ 意見の公表・行政庁への建議等の法令業務からの削除
- ⑤ 都道府県農業会議・全国農業会議を廃止し、都道府県と国が法律上指定する法人化への移行
- ⑥ 都道府県農業会議に対する農地転用知事諮問の取扱い

農業委員会の動き

- ・ 毎月末 農業委員会総会
- ・ 5月27～28日 全国農業委員会会長大会（東京都）
- ・ 6月9～10日 市町村農業委員会会長会議（新発田市）
- ・ 7月2日 県農業会議巡回業務推進検討会
- ・ 7月22日 農業委員会互選会
- ・ 7月25日 上越地区協議会総会（妙高市）
- ・ 7月31日 農地パトロール
- ・ 8月4日 新規農業委員研修会（新潟市）
- ・ 8月11日 地域別農業委員研修会（上越市）
- ・ 8月22日 農業者年金加入推進特別研修会（新潟市）
- ・ 8月28日 県農業会議定例総会（新潟市）
- ・ 9月10日 胎内市農業委員会研修受入

全国農業会議所・都道府県農業会議としては、地域の信任が得られる農業委員の選任方法の構築や全国農業会議所等の役割の見直し等、政府・与党の制度設計の議論に向けて、組織自らの検討を行ったうえで改革案を提案することとしており、現在取りまとめが進められています。



農業者年金に加入しましょう

農業者の皆さんを対象とする年金制度です。加入資格は、
 ①年間60日以上農業に従事している方
 ②国民年金の第1号被保険者の方
 ③60歳未満の方
 のすべてに該当する方です。
 関心のある方は、農業委員会事務局へお問い合わせください。

全国農業新聞を購読しませんか

全国農業新聞は週刊の農業専門紙です。農業に関係する国政の動きや身近な地域の情報まで幅広く掲載しています。購読の申し込みは、各地区の農業委員又は農業委員会事務局までお願いします。購読料は、月額600円です。

糸魚川市農業委員会事務局

糸魚川市一の宮 1-2-5（市庁舎内）
 電話 552-1511 F A X 552-7372